

京都府漁海況情報

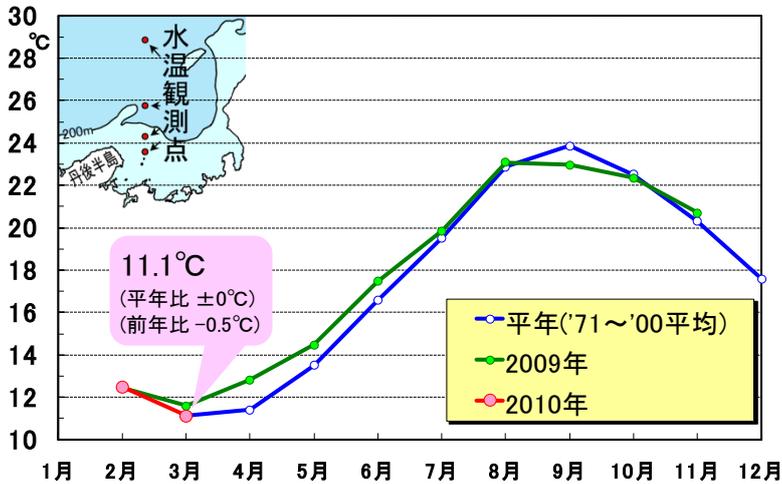
京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>
 電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

海の状況

【現況】

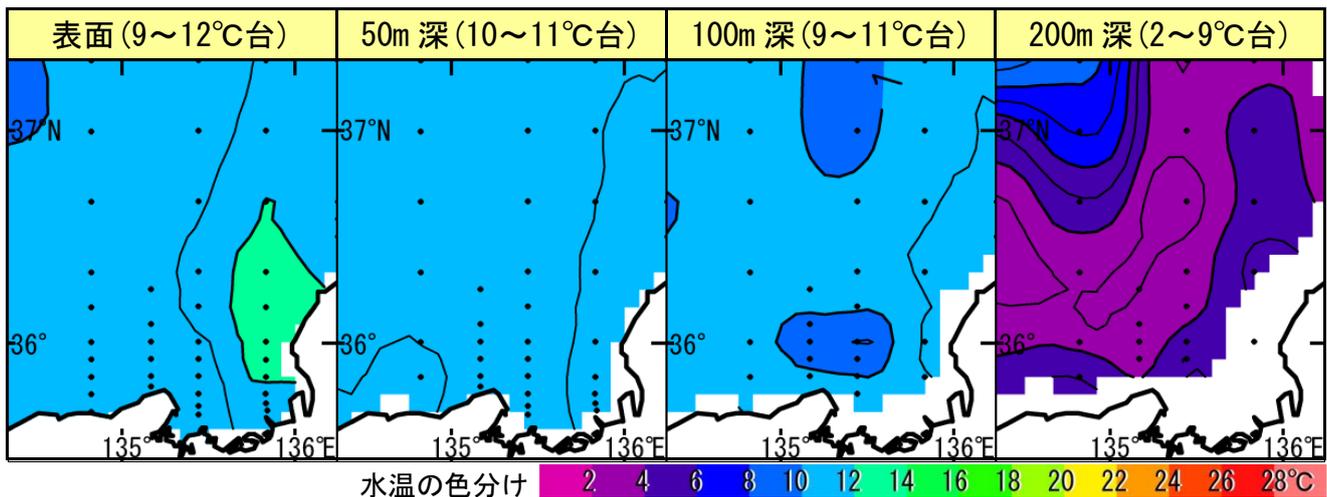
3月上旬における京都府周辺の表層水温は、ほぼ平年並みで推移していました。

京都府沖の表層水温(0~50m 深平均)



京都府周辺の各層水温(2010年2月下旬~3月中旬)

資料元: (独)日本海区水産研究所



【今後の見込み】

資料元: (独)日本海区水産研究所, 気象庁, 九州大学応用力学研究所

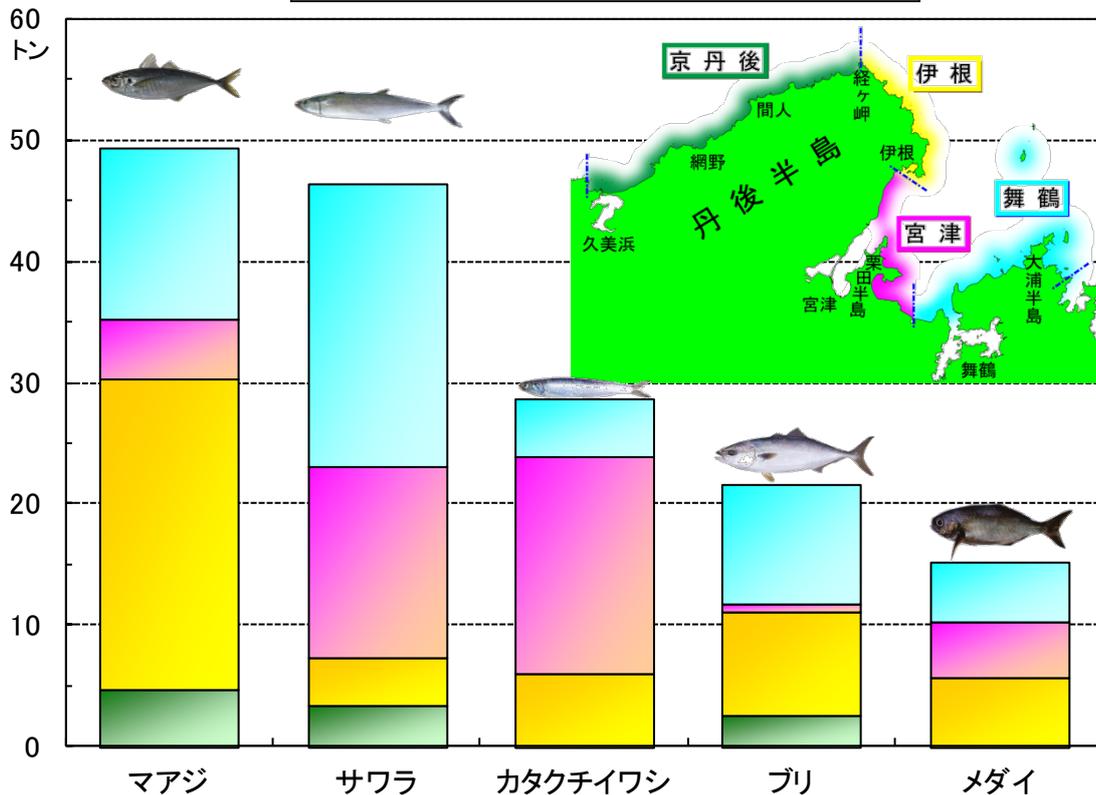
向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	「平年並み」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年より強め」で推移する見込み

漁模様 ～2010年2月～

【定置網漁業】

全体では平年の約6割、前年の4割弱の水揚げにとどまりました。

2010年2月の地域別漁獲量(上位5魚種)



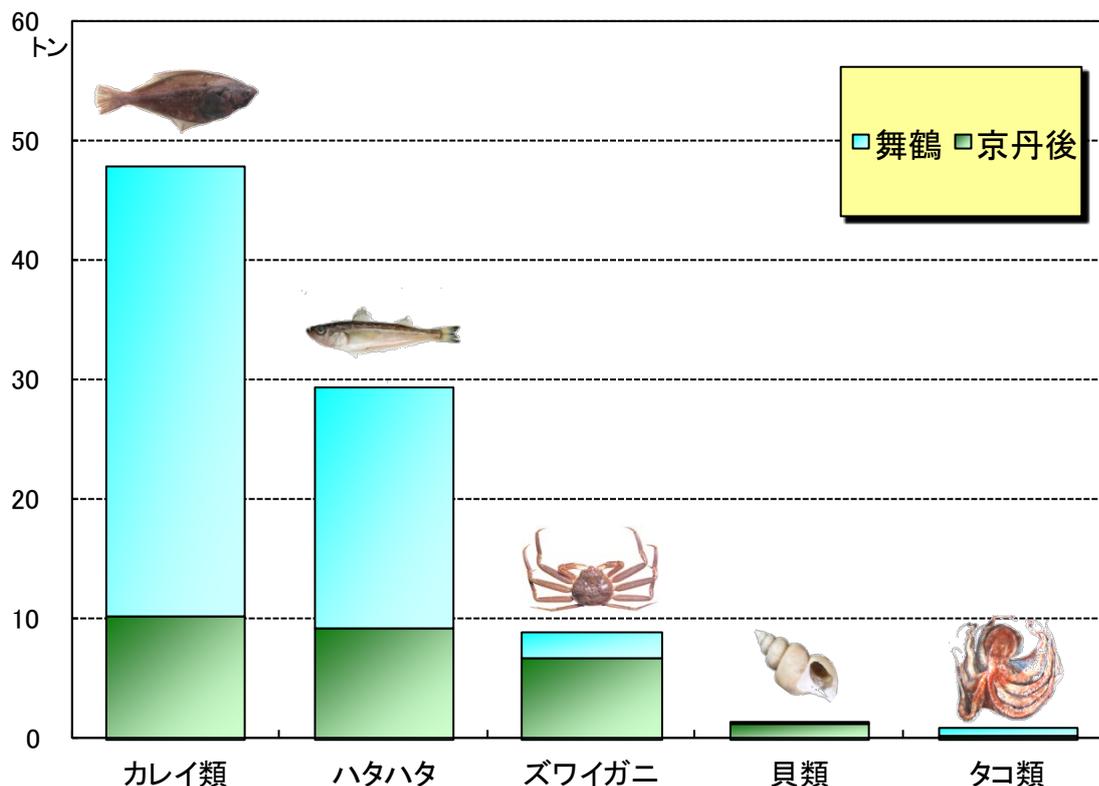
2月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2010年	2009年(前年比)	平年(平年比)	備考
マアジ	49.3	87.8 (56%)	74.4 (66%)	<サワラ> さごし銘柄(尾さ長 40~50cm 主体)が約7割、それより大きなさわら銘柄が約3割でした。
サワラ	46.4	58.6 (79%)	41.3 (112%)	
カタクチイワシ(たれ)	28.7	189.0 (15%)	60.2 (48%)	
ブリ	21.6	7.5 (286%)	8.6 (250%)	
メダイ(たいしょうお)	15.2	0.6 (2431%)	4.9 (312%)	
イカ類	12.0	28.2 (42%)	25.5 (47%)	<カタクチイワシ> 体長 3~9cm 台が主体でした。
カナガシラ(かな)	11.4	13.6 (84%)	10.7 (106%)	<ブリ類>
ウマヅラハギ(長り)	10.4	3.1 (332%)	9.2 (114%)	ぶり銘柄(体重 4~9kg 級主体)が約7割、つばす銘柄が約2割などでした。
マグロ類	7.2	14.3 (50%)	4.3 (168%)	
スズキ	6.3	8.3 (77%)	3.7 (172%)	
その他	40.0	250.6 (16%)	150.6 (27%)	
合計	248.5	661.8 (38%)	393.3 (63%)	

平年は過去10年平均

【底曳網漁業】

カレイ類が好漁でしたが、全体では平年の約8割の水揚げでした。

2010年2月の漁獲量(上位5魚種)



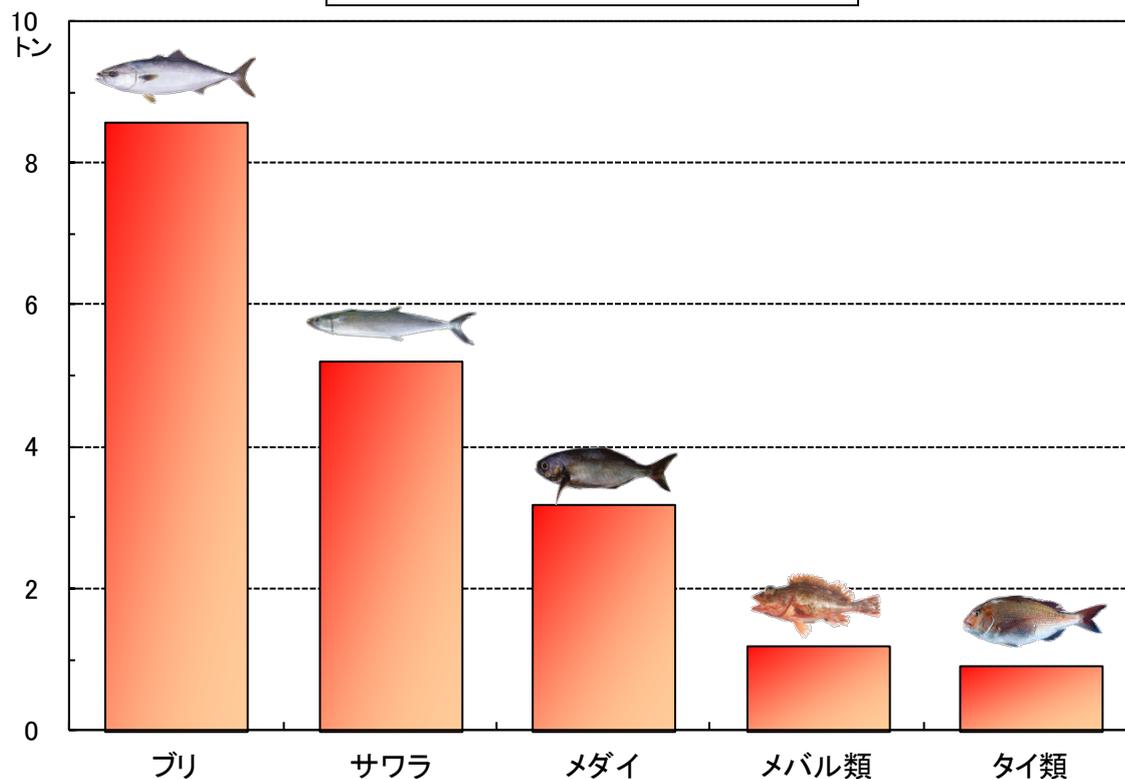
2月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2010年	2009年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	47.8	30.8 (155%)	41.9 (114%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が 42.2 トン, ヒレグロ(黒がれい)が 3.8 トン, ソウハチ(えてがれい)が 1.7トンなどでした。
ハタハタ	29.4	32.5 (90%)	46.5 (63%)	
ズワイガニ(松葉がに)	9.0	4.0 (223%)	13.8 (65%)	
貝類	1.5	1.6 (96%)	0.9 (166%)	
タコ類	1.0	0.9 (106%)	1.9 (51%)	
ニギス(沖ぎす)	0.8	0.6 (122%)	2.1 (37%)	<ズワイガニ> 京都府では自主的に水ガニの 漁獲を禁止しています。メス (せこがに)は 1月上旬に漁期 を終えました。
エビ類	0.7	0.6 (108%)	1.0 (70%)	
タラ	0.4	0.2 (184%)	0.1 (483%)	
アンコウ類	0.3	0.2 (129%)	0.7 (37%)	
タイ類	0.3	0.5 (48%)	0.2 (110%)	
その他	1.5	1.4 (105%)	4.1 (36%)	
合計	92.5	73.4 (126%)	113.3 (82%)	

平年は過去10年平均

【釣り・はえなわ漁業】

サワラやメダイが好漁で、全体で平年の約1.6倍の水揚げでした。

2010年2月の漁獲量(上位5魚種)



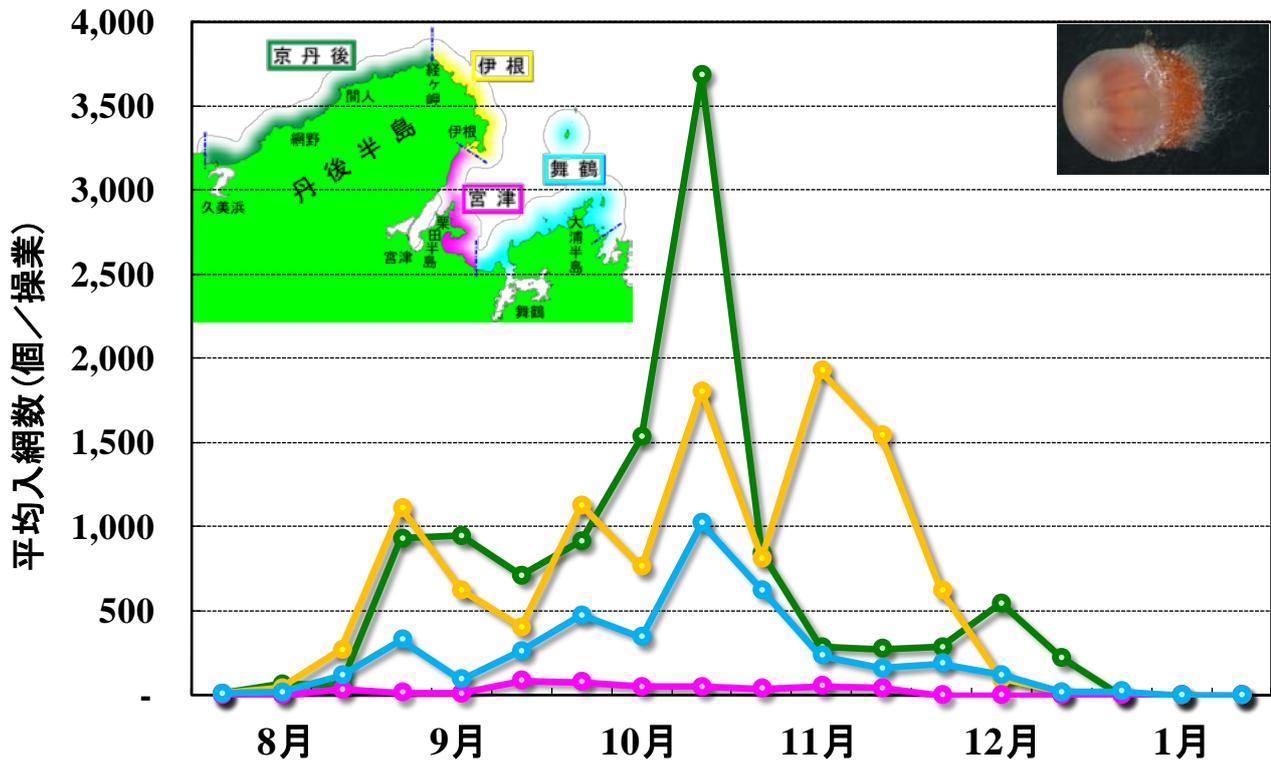
2月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2010年	2009年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ	8.6	14.5 (59%)	5.2 (165%)	
サワラ	5.2	1.9 (276%)	1.4 (378%)	
メダイ(たいしょうお)	3.2	0.5 (701%)	1.1 (301%)	
メバル類(もいお)	1.2	0.5 (248%)	0.8 (156%)	
タイ類	0.9	0.8 (120%)	0.9 (106%)	
アジ類	0.7	0.2 (403%)	0.1 (608%)	
アマダイ(ぐじ)	0.4	1.1 (41%)	1.2 (37%)	
ヒラメ	0.1	0.1 (93%)	0.2 (30%)	
ウマヅラハギ(長り)	0.1	0.0 (194%)	0.2 (27%)	
カレイ類	0.1	0.1 (72%)	0.1 (43%)	
その他	1.1	1.0 (108%)	2.2 (50%)	
合計	21.5	20.6 (104%)	13.4 (161%)	

平年は過去10年平均

【トピック ～大型クラゲの出現状況～】

丹後の海における 2009 年の大型クラゲ出現状況をまとめました。漁業者の皆様におかれましては、数々のご苦労お察し致します。

- ・ 例年より早い出現 (8 月 1 日に漁業者が初来遊を目撃)
- ・ 過去最大級の出現量 (過去最多とされる 2005 年に匹敵, 10 月中旬にピーク)
- ・ 年内にほぼ終息



府内各地の定置網一回操業あたりの大型クラゲ平均入網数の推移 (2009 年)

【トピック ～メダイが好漁～】

この冬、定置網を中心にメダイ(たいしょううお)が好漁です。前年 12 月から今年 2 月までの漁獲量は、平年比 3.9 倍の約 100 トンに達しています。

メダイは、幼魚期には表層の流れ藻などにつき、成長すると水深 100m 前後かそれ以上の深い海を主な生活の場とします。なお、この冬には深海性と考えられているサケガシラの仲間やリュウグウノツカイ、シマガツオ(エチオピア)の定置入網数も多く、これらに共通のきっかけがあるのかないのか興味深いところです。

